



2017-2018年度 主題

国際会長 : Henry Grindheim “Let us walk in the Light-together
「ともに、光の中を歩もう」
アジア会長 : Tung Ming Hsiao “Respect Y's Movement”
「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事 : 栗本 治郎
「広げよう ワイズの仲間」
湘南・沖縄部長 : 金子 功
「Y'sの絆を強め、広げよう」
クラブ会長 : 今城 宏子
「笑顔で奉仕、奉仕で笑顔」
～仲良く、楽しく、無理をせず～



今月の聖句

すると、主は言われた。
「行け。あの者は、異邦人や王たち、またイスラエルの子らにわたしの名を伝えるために、わたしが選んだ器である。」

使徒言行録 9・15

(信徒の友”みことばにきく”より)

2017年11月本例会

日時 : 11月24日(金) 18:30～

場所 : かけはし都筑

司会 : 辻Ts 受付 : 福島

～プログラム～

開会点鐘 会長
ワイズソング・信条 一同
今月の聖句と祈祷 鈴木S
会長挨拶

卓話 高松満至さん
演題 “自己紹介とちょっとした話題”

スマイル (各種アピール)

YMCA報告

Happy Birthday (該当者なし)

閉会点鐘 会長

懇親・会食会 “ガブリエル”

《今後の予定》

11/24 本例会

11/18 部評議会

11/23 中央YMCAウエルカム
フェスタ

12/2 Y-Y's協議会

12/12 事務例会(クラブクリスマス)

12/21 YMCAクリスマス祝会
(とつかYMCA)

巻頭メッセージ

久保 勝昭

カントリー&ウエスタンソング (以下カントリーソング) との出会いが、いつ頃であったかまったく記憶がない。1962年ごろ横浜の駅ビルに出来たロンスターという喫茶店にカントリーソングを良く聞かしたので興味はそのころかも知れない。「ジミー時田(1936～2000)とマウンテンプレイボーイズ」の全盛期であった。ちなみにこの時ベースを担当していたのがドリフターズ創始者のいかりや長介であった。その後何年か続いたがグループサウンドに押されカントリーソングも横浜から消えつつあった。63年大学に入り、町内のごく親しいお兄さん(日本カントリー界の大御所・黒田美治(1930～2001)に師事)が「原田実とワゴンエース」のマネージャーをしていたこともあり本格的にカントリーソングにのめり込むようになった。原田さんの家には一度だけお邪魔したことがある。気さくな人で私を温かく迎えてくれた。しかしギターのコードを弾きながら歌を唄うようになったのは1960年ごろかも知れない。

て唄っていた。黒田美治やジミー時田もカントリー界では有名であったが、その前にカントリーのヒット曲を日本語の歌詞で唄っていた歌手がいる。城卓矢(1935～1989)、北原謙二(1939～2005)、小坂一也(1935～1997)は北風、コウライジャ、ジャンバラヤなど数々のヒット曲を広めた。コウライジャ、ジャンバラヤはこの頃カントリーソングを唄う人は必須であったように思う。この時ハンク・ウィリアムス(1923～1953)の存在を初めて知る事になる。



ハンク・ウィリアムスについては2018年の4月本例会の卓話で詳しく話したいと思っている。もう少し頼りない記憶を追っていきたい。1964年ハンク・スノウ(1914～1999)が初めて来日した。この頃アメリカでは3代ハンクよばれ、ハンク・ウィリアムス、ハンク・トンプソン、ハンク・スノウと絶大な人気があった。(4頁下段へ)

《前月のデータ》

例会出席	15名	在籍会員数	17名	各種記録	前月	累計
メンバー	11名	月間出席数	11名	使用済切手	0g	0g
ビジター	0名	メーキャップ	3名	プルタブ	0.6kg	0.6kg
ゲスト	4名	月間出席率	82%	スマイル	0円	55,587円

《特別本例会報告》

クラブ恒例の秋の移動例会が開催されました。今年度になってメンバーが減り、若干寂しい移動例会ではありましたが、これ以上ないという好天に恵まれ、小田原城に始まり、東山荘で終わる秋の箱根路を楽しみました。

日時：10月27日（金） 9：00～20：00

参加者

クラブメンバー：今城T・H、岡田K・M、岡崎、久保、鈴木K・S、辻T s、三木N、横田

ゲスト：河本祥子、杉本千津子、三木紀昭、白田隆二（運転）

絶好の日和に恵まれ雲一つない青空の下、おなじみの白田さん運転の小型バスに10名が乗り込み9時にセンター南を出発、9：20に市が尾駅にて4名が加わり東名青葉インターから小田原へ向かう。途中、見え隠れする富士山に歓声を上げながらY'sクラブの本例会としてワイズソングからスタート。

鈴木Sワイズ作成によるYMCAとY'sメンズクラブに関するクイズ（問題集）を行って頂いた。答えられない項もあり、冷や汗（!!!）

和やかに談笑するうち小田原城に到着。少し到着が遅れたため滞在時間が短くなったが健脚の方々は天守閣まで登頂された。青空に真白く聳え立つ天守閣は下から見上げるだけでも素晴らしいものだった。



お腹も空いて次に目指すは「かまぼこの里」。駐車場には何台もの大型バスが並び続々と人の波が押し寄せている。びっくりしつつも私達も予約したレストランへと向かい「金目鯛飯とかまぼこ、おでん定食」を頂いた。食事に要注意の鈴木Kワイズもご一緒にきて何よりでした。お腹いっぱいのはは其々に巨大な「かまぼこ」売り場でお買い物。種類が多すぎて迷う方も・・・。

「かまぼこの里」の人の波に圧倒され、次



に向かったのは箱根町、ここから海賊船に乗って芦ノ湖遊覧をし桃源台に向かいます。こちらにも観光客で満員。湖に青い空、富士山も、そして紅葉が始まった山々も美しく、晴天を与えて下さった神様に感謝です！

下船後は再びバスに乗り込み、乙女峠を越えて富士山の全景に見とれ、続いて向かった先は「二の岡ハム」。評判のポロニャソーセージやベーコンを買い込み、いよいよ最終目的地の東山荘に到着。待っていて下さった堀口所長に案内されたのは本館ホール。そこでシンボルともいべきステンドグラスを見せて頂きました。十字架から出ている麦の穂をかたどったデザインです。「一粒の麦が蒔かれ全地に広がっていく」ことを表しているとのこと。

さらにヴォーリズの設計といわれるフィッシャー館へと導かれ多くの歴史ある写真に囲



まれてお話しを伺い、東山荘建設のため尽力された広岡浅子氏やフィッシャー氏をはじめ洞爺丸遭難のおり自らを犠牲としたリーパー主事やストーン宣教師のことなど詳しく知ることができました。また、二の岡には多くの外国人が別荘を構え、ハム製造や養鶏など地域へ伝えたことも初耳でした。

多忙な中から時間を割いて下さった堀口所長に感謝し「夕陽の丘」「黙想館」へと坂道を上ります。一日の終わりを飾る真っ赤な夕日が富士山を赤く染めて沈んでいくのを感動しつつ眺めました。黙想館にて静寂の時を持った方々もおられたようです。

そしてお待ちかねのディナータイム！評判の東山荘レストランの宴会場のような個室に用意された素晴らしい食事と行き届いたサービスに全員大満足・大満腹！おもてなしに感謝、感謝でした。（今城 宏子 記）

帰路は余裕を見て出発したのに思わぬ大渋滞に巻き込まれハラハラしましたが臼田さんの超絶技巧による運転のおかげで予定通り20時に市が尾着、20:15にセンター南に駅到着できました。

皆様のご協力により、楽しい旅ができましたことを感謝して報告いたします。

感想など、メンバーの寄稿は次の通り。

海賊船と「山のホテル」

今年も楽しい移動例会でした。「小田原・箱根・東山荘」移動例会を企画し、下見をして下さった今城宏子会長・高之書記、横田、岡崎両ワイズに感謝いたします。個人的に印象に残っているのは、芦ノ湖の海賊船に初めて乗ったことです。特に、海賊船から見た芦ノ湖畔の「小田急 山のホテル」の景観は素晴らしいと思いました。実は、私は現役のころ仕事の関係で、数回「山のホテル」に宿泊したことがあります。何時も東京と箱根の間を慌ただしく往復していました。岩崎小彌太の別邸跡に、レマン湖畔の古城をイメージして建てられたというこのホテルは、湖上から見るとやはり美しいと思いました。

バスの車中では、今年も例会での学びの一環として、「ワイズ・YMCAクイズ」を担当させていただきました。この10月からYMCAの新しいブランドロゴが制定されましたので、それに関連した問題も加えました。ロゴは変わってもYMCAの使命や目的が変わる訳ではありません。新ロゴを通して、YMCAの活動内容が人々にさらに浸透し、理解されることを願ってYMCA・ワイズの一層の相互協力を推進したいと思います。

2017年11月11日

鈴木 茂

天守閣に 振る手大きく 小春空

山粧ふ デッキに憩ふ ワイズメン

ワイン酌む 集う顔皆 ほころびて

岡崎 さよ子

《YMCA報告》

横浜北YMCA館長 山中 奈子

10月23日～27日 韓国ワールドトリップ研修でソウルに行かせていただきました。今回のツアーの目的は古代から現代にいたるまでの歴史的に関係の深い韓国を訪問し、日韓キリスト教及びYMCA関係の歴史、日韓の和解、東北アジアの平和について見て学ぶことを目的としたものです。

台風の接近が予想されるため、前日夜から成田空港に泊まり込み、一夜を明かす経験をしました。結局は都内の交通も全く問題中なかったのですが、なかなか普段ではできない経験ができました。

1919年に展開された「3.1独立運動」の最中に起こった、いわゆる「堤岩教会焼き討ち虐殺事件」の現場である記念館や伊藤博文を暗殺した安重根の記念館、日本の植民地化時代の刑務所、非武装地帯内にあるトンネルなどを尋ねました。日本の植民地下であった韓国が日本の地で解放の声があがり、3.1運動に繋がったこと、南北分断もここから始まったこと、南北の見えない壁があまりにも厚いことなど…日本に居ては分からなかったことを見聞きしていく中で「知らなかった」では済まされない日韓の歴史を改めて感じました。また、私たち民間のNGOが担わなくてはならない働きを再確認することができました。

韓国の学生は非常に歴史認識が深く、政策提言なども積極的に行っていました。日本の学生たちもこの位元気が欲しいな…と思われました。おいしいマッコリもたくさんいただき、身体全体で感じる韓国の旅でした。



《特別報告》

第37回横浜市社会福祉大会に出席して

クラブ会長 今城 宏子

10月30日（月）関内ホールに於いて第37回横浜市社会福祉大会が開催されました。当クラブが「ボランティア活動功労（技術・労力奉仕）」部門で表彰されるということで出席して参りました。

内容：記念講演、主催者挨拶、表彰式典、来賓祝辞

・記念講演のテーマは「横浜発 助けあいの心がつむぐまちづくり」

講師として西尾敦史氏他5名の方々、その中には青葉区中心に活動されている清水雅子氏（NPO法人グループたすけあい代表）もおられ、それぞれに地域で活発に活動されているお話を伺いました。

YOU & I コンサートをはじめ私共の地域での小さな活動も継続していくことの大切さを学ばせて頂きました。

・同じ部門で表彰を受けたのは29団体、都筑区からは4団体

でした。

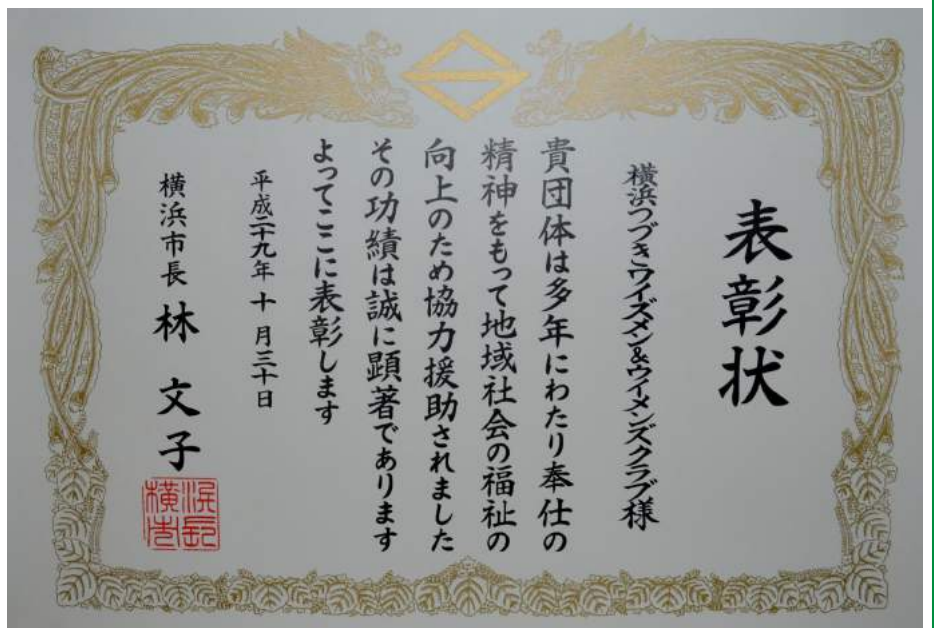
・他の表彰は「永年勤続・活動功労」として民生・児童委員の方々、民間社会福祉施設従事者・施設長、民間社旗福祉施設従事者・施設職員、家庭保育福祉員、里親。保健活動推進員、食生活改善推進員、「団体自主活動功労」として優良老人クラブ、その他福祉団体、さらに「生活保護法医療功労」「母子保健事業功労」

「精神保健事業功労」「救急医療事業功労」「地域保健医療事業功労」等多岐にわたりました。

・来賓祝辞を頂き終了。

13：15～16：00の長丁場でしたが地道に活動を続けることの意味を改めて感じさせられる時となりました。

感謝です。

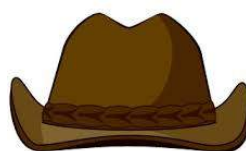


（巻頭メッセージ続き）前記のワゴンエースのマネージャーと羽田まで迎えにいった。とっさに着ていたスエードのチョッキを脱ぎ、サインを頼むと快くサインしてくれたことはいまでも忘れない。（残念ながら、1984年の類焼で焼失）。1965年10月16日（土）フェーリン・ハスキー、ハンク・ロックリン、スキーター・デービス、チェット・アトキンス、カントリージェントルマン等大物歌手、バンドが横浜文化体育館に集まった。もちろんこのイベントを見逃す分けがないが、自身大物カントリー歌手をみたのはこれが最後であった。それはカントリーソングがグループサウンド

やロックに移行する時に来ていたからであった。以降社会人となり、日本の大物歌手、大野義夫、ウイリー沖山、寺本圭一、斎藤任弘などが頑張っている姿を見ると懐かしく、今一度カントリーソングを唄ってみたいと思う今日この頃である。

（久保勝昭 記 資料：東京グランドオール・オープリーの時代より）

～この続きは来年の卓話で～



《IBC先からの手紙》当クラブとIBC関係にあるデンマーク・ランズクラブのレップショルトさんから当クラブ鈴木茂ワイズに宛てて近況報告がありました。遠くの仲間たちの活躍ぶりをご覧ください。(訳:鈴木S)

Dear Shigeru Suzuki

I feel that it is still more difficult to keep our connection, but let us still do our best.

Maybe it only shall be between us (you and me)- and then we can refer to the clubmembers, if we feel, it's the best.

This summer has been cool and rainy in Denmark, but we still have had a nice time.

In July, Anne Marie, my wife, and I participated in the AREA convention in Letvia. It was a great experience. We were 200 members, 100 from Denmark. The club, which arranged the convention has only eight members, all women. Many items were different. We had a lot of social being together. Walking in the nature, sport-games, concerts, gardenparty. The official points in the program took only 2 days, and 2½ days we enjoyed each others company.

After the convention we had a little holiday with our three small grandchildren, girls on 5, 4 and 2 years - and after that we spend the rest of summer in our cottage by the sea.

In september we, together with seven Y's Men from Denmark, visited Bulgaria. We were three days in Plovdiv together with the club there, and four days in Sofia, where a new club was chartred. It was nice to stay there again.

In our club, we now are only 16 members, and some of them are ill, so it is bad. We changed our rules, so we can have ladies as members, but yet no one has come. We still try to find new members and a new way to find them.

In these days our crownprince and his wife visit Japan, so we have some TVpictures from your country. It is fine to look at again.

I hope the best for you, your family and for your club and send

warm greetings to you

Leif Repsholt

鈴木茂様

私どもが連絡を取り合うことが以前より難しくなってきたように思われますが、お互い頑張って、連絡し合うようにしましょう。

この夏、デンマークは涼しく、雨の多い天候でしたが、私たちは充実した時を過ごしました。7月には、アンネ・マリーと私の妻、私の3人でレトヴィアで開催されたヨーロッパ地域大会に参加しましたが、素晴らしい体験でした。参加者は全部で200名、うちデンマークからの参加者は100名でした。大会のホストクラブはメンバーが8名で、全部女性です。多くのプログラムが通常の地域大会と異なっていました。自然の中での散策、スポーツゲーム、コンサート、ガーデンパーティーなど、相互の懇親を図るプログラムが沢山ありました。公式プログラムは2日間のみで、あとの2日半は仲間同士の交わりを楽しみました。大会の後、3人の小さな孫たち(5歳、4歳、2歳の女の子)と共に、短い休暇を楽しみ、さらにその後、残りの夏を海岸近くの別荘で過ごしました。

9月にはデンマークから7クラブが参加してブルガリアを訪問し、プロヴディフに3日間、ソフィアに4日間滞在しました。ソフィアは先般、新クラブがチャーターされたところで、再度訪問できてよかったです。

ランズクラブは現在メンバーが16名のみになり、しかもそのうち何人かは病気がちと、厳しい状況にあります。そこでクラブ会則を改定し、婦人もメンバーになれるようにしましたが、まだ一人も入っていません。目下、新メンバーと新メンバー発掘方を模索しています。

最近、デンマークの皇太子・皇太子妃が日本を訪問しており、日本の様子をテレビで放映していたので懐かしく見ました。

クラブの皆さまによろしくお伝えください。

リーフ レップショルト

《11月事務例会報告》

日時：11月14日(火) 16:00～

場所：田園都筑教会

- 1) 会長の点鐘の後、黙禱して開会
- 2) 報告事項
過去1ヶ月のクラブの活動につき、それぞれの担当が報告。福祉農園については、雨で二度流れ結局中止となった。
- 3) 協議事項
都筑区の「ささえ愛福祉週間」(11/29-12/2)のパネル展示にクラブも参加。奉仕者募集中。
- 4) 11月のCS活動予定について確認。
・社協ボランティア分科会 10/23 他

- 5) 11月の活動予定
11/14 事務例会
11/24 本例会 卓話:高松満至さん
11/23 中央YMCA ウェルカムフェスタ
- 6) 12月の活動予定
12/2(土) Y-Y's協議会
12/12(火) 事務例会(クラブクリスマス祝会)
飲食持ち寄りの予定
12/21(木) クラブ本例会(横浜YMCAクリスマス会(戸塚Y)に合流)

会長の点鐘・黙禱で会を終了し、『一心』に場所を移して懇親会を開催した。(今城高之 記)

「みやま荘」および「つばめの杜保育所」
慰問報告

参加者：今城会長、今城T、辻Ts（横浜つづき）
石丸由理（東京武蔵野多摩）

《日程および活動報告》

07:01 新横浜発（こだま800号）⇒07:20 東京着
07:36 東京発（はやぶさ3号）⇒09:10 仙台着
09:40 仙台発（レンタカー）⇒10:40「みやま荘」着

10:45～11:45 「みやま荘」にてお誕生日会開催。歌の広場、ゲーム、マジック等で盛り上がった。（今月お誕生日をむかえられた方は5名、うち4名は90歳台。みやま荘全体では100歳以上の長寿者が5名。全員女性とのこと。）職員の方全員でまた来てくださると見送られ、再会を約束した。通常は、仙台YMCAの村井伸夫・総主事、石巻広域クラブの清水弘一・元理事も参加してくださっています。

11:45～12:15 「みやま荘」の森 忠則園長および経営母体「清和会」の北島宏一会長、ほか職員の皆さんと反省会および懇談。

12:30 「みやま荘」発⇒12:15～14:30 昼食および被



災地域の見学

14:50 「つばめの杜保育所」着

15:00～16:15 3歳児および4歳児を中心に、

石丸さんの魔法のリトミックに園児たちは1時間半にわたり無我夢中で遊び、歌い、踊りまくっていた。

16:15～16:45 伊藤ひとみ園長以下職員の皆さんと反省会および懇談。

16:45 「つばめの杜保育所」発⇒18:00

レンタカー返却

18:55 仙台発（はやぶさ30号）⇒20:32東京着 ⇒21:00 新横浜着



2. 感想

われわれが訪問している上記の2ヶ所の「みやま荘」と「つばめの杜保育所」は、全く対照的な施設です。老人ホームと保育所、高齢者と保育園児、被災経験者と未経験者（もちろん、職員の皆さんは両所とも経験者あり）、古い施設と真新しい施設、等々です。しかし、その両所ともが東日本大震災の風化を恐れ、われわれに来年もまた来てほしいと希望しておられます。

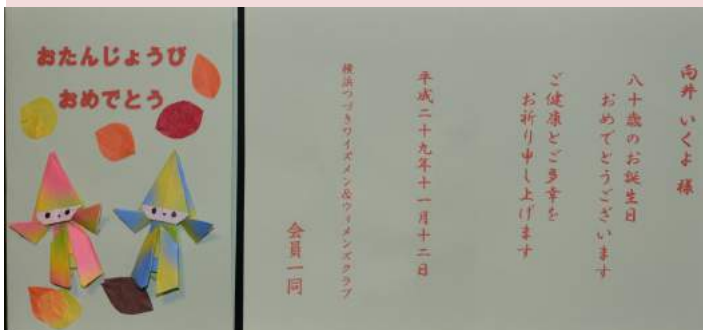
3. 合計交通費：81,840円

（内訳）新幹線代：70,480円（4人分）
レンタカー代：9,206円
高速料金：2,160円

以上

（文章と写真：辻剛）

《TKBお仕事会》 山元町の「みやま荘」「つばめの杜保育所」、南相馬の「聖愛保育園」に送るバースデーカード作りを行いました。先の、東日本被災地訪問の際に、ご高齢の方々、子どもたちが、カードを楽しみに待っていてくださることを知り、ますます熱が入ります。



▽やたらと忙しかった10月も一段落。気が付くと朝夕、肌寒さを感じる気候となっています。▽横浜チャリランの際、多数の表彰状書きの奉仕を担当した辻剛ワイズ、書き終えて立ち上がった際、雨後で緩んでいた地面に椅子の足をとられ転倒、右肩を強打し、後の検査で、腱断絶が判明しました。当分、治療とリハビリを余儀なくされる由。心よりお見舞い申し上げます。▽10月の例会は恒例の「移動例会」。旅の最後は東山荘に立ち寄り、同所にまつわるお話を伺い、新装なったレストランで夕食をいただく。絶好の好天に恵まれた素晴らしい1日でした。▽クリスマス、年末に向け何かとあわただしい日々が続きます。皆様、お大事に。（編集子）

《編集後記》